

マザーボードを取り付け、各種ケーブルを接続する

準備を整えたマザーボードを、PCケースに取り付けるとともに、電源ケーブルをマザーボードに接続する。PCケースに付属するネジを準備しておこう。

12. マザーボードの取り付け

12-1 ▶横置きにしよう



マザーボードの取り付け工程は、PCケースを横置きにして作業するのが、おすすめ。

12-2 ▶斜めに組む込む



中央にある凸形状のスペースに合わせて、I/Oパネル側を下に斜めに組み込もう。

12-3 ▶再確認して固定



凸形状のスペースがネジ穴にはまれば、ほかのネジ穴もほぼ合うが、念のため確認しよう。

規格の合ったネジで固定する

マザーボードが歪まないように、対角線上のネジを順番に少しづつ締め付けよう。本構成は、インチネジを使用。

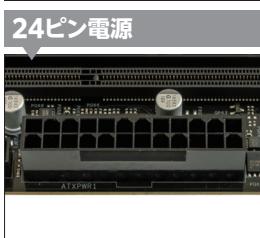


一部マザーボードはI/Oパネルを先に取り付ける

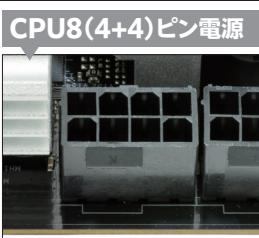
マザーボードとI/Oパネルが分かれている場合、I/OパネルをPCケースにはめ込んでから、マザーボードを組み付けよう。

13. 電源ケーブルの接続

おもな電源コネクタの形状を覚えておこう



PCのメイン電源コネクタになる。甘挿し、挿し忘れると、PCの電源が入らない。



搭載コネクタの構成は、マザーボードで異なるが、最低1つのコネクタに接続が必要になる。



ビデオカード以外の補助電源に接続することもある。CPU8ピンと間違えないよう注意。



最大600Wの電力を1本のケーブルで、供給できる最新規格の補助電源コネクタとなる。



PWM制御に対応する4ピンだけでなく、3ピンのファン電源コネクタも接続できる。

13-1 ▶2つの電源ケーブルを接続



用意してある24ピン電源と、2本のCPU8(4+4)ピン電源ケーブルを、コネクタに奥まで挿し込む。

13-2 ▶挿し込みを再確認



しっかりと挿し込まれているか、確認しよう。とくにCPU8(4+4)ピン電源は、ラジエーター取り付け後は、確認しづらいので注意したい。